

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890200078
法人名	NPO法人 ケア・サポート
事業所名	ちかみシーサイド
所在地	愛媛県今治市近見町1丁目7番50号
自己評価作成日	平成 21 年 7 月 10 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年8月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の問題行動や行動障害がなくなり、穏やかに普通にのんびりと暮らせる施設。利用者様の出来る事を引き出し本人さんのペースに合わせたケアを行ないたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の介護度が重くても、当ホームを利用することが必要であると判断される方は、受け入れている。「ふつうのことを ふつうに」を行動指針にして、ゆったりと一人ひとりに合わせたケアを目指している。管理者はこのホームに来てまだ日が浅いが、職員と協力し合って利用者にとってより良い生活の場所にしようと取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ちかみシーサイド

(ユニット名) ほほえみ

記入者(管理者)

氏名 黒瀬 俊三

評価完了日 21年7月15日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 皆で毎日、実践の中で理念を共有している。	
			(外部評価) 「ふつうのことを ふつうに」を理念の中心に置き行動の指針としている。例えば口腔ケアは毎食後にするとか入浴は週3回以上を目指すなど、あたりまえのことをあたりまえとしてやっているにとらえている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域に住んでいる職員を雇用し家族との交流もある。	
			(外部評価) 管理者は、小・中学校、公民館など地域との関係が大切なことをよく理解している。夏祭りでは婦人会などにも声掛けをし、地域で行事があった時にホームの駐車場を貸すなど、つながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域にある公民館とも協力し合い、交流を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者のご家族さんや市の職員の意見を参考に取り入れそれを実践している。	
			(外部評価) 市の担当者から連絡事項を説明してもらったり、ホームからは現在の取組について報告したりしている。今後、資格や経験のある人にも会議に参加してもらいたいと考えている。	開設してまだ日の浅いホームであるがいろいろと工夫し、積極的に取り組んでいる。職員以外の参加者を増やすなどして、多方面からの意見を活かした取り組みを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 感染症や災害時の事など緊密に連絡を取りながら協力体制を取っている。	
			(外部評価) 日ごろから、市の担当者と電話などで密に連絡を取っている。インフルエンザが流行した時などには情報提供や指導もいただき、良好な関係を築くことができている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 徘徊をする元気な利用者の方が多く玄関や入り口の施錠は拘束になると解っているが出来ていない。	
			(外部評価) 利用者の安全を最優先に考え、玄関は職員が操作しないと開かないようにしているが、常に最良の方法を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者には出来るだけ優しく接するように心掛けている。出来る限りの要望に答えている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 月に1回ミーティングを行いその都度話し合いを持っている。勉強会も月に1回は必ず有る。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に必ず十分な時間を取り、休みの日でも相手の都合に合わせてご家族様が納得するまで説明を行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 来園や面会に来られたご家族とお話しをし、何か要望はないかいつも聞いている。そしてその要望や意見を反映させている。 (外部評価) 家族からの意見や要望には、よく話を聞いて対応をしている。管理者は、家族からの意見などを運営に反映させたいと考えている。	何でも言ってもらえるような場や雰囲気づくり、行事への協力をお願いできるような関係づくりを、さらに積極的に進めるよう今後の取り組みに期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 毎日、日常の勤務の中で要望や意見があれば取り入れている。</p> <p>(外部評価) 代表者や管理者は、毎月1回のミーティングや、リーダーからの報告を通して、職員から意見や提案を聞き運営に反映させるよう取り組んでいる。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 残業時間が発生しない様、人的に厚く勤務を組んでいる。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 月に1回は必ず講師を呼んで勉強会を行いスキルアップを目指している。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 今の所同業者との交流は無い。これからはどんどん積極的に交流に取り組みたいと思っている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 本人さんやご家族さんとコミュニケーションを取り認知症により入居に至った経過をお聞きして対応策を検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居に至った経緯や背景をお聞きし出来る限り要望にお答えする様努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 色々な対応を試みて利用者さんが今一番何を求めているのか探りながら介護をしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 常に横に寄り添いお話や日常生活訓練を試み少しでもより良い関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族とのコミュニケーションを大事にしながら御家族と一緒に協力体制を取って日常生活を営んでいる。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お友達や身内の人達の面会やふれあいを大切にしている。 (外部評価) 病院や他の施設から入居する人が多く、利用者の馴染みの関係を把握しにくいところはあるが、昔住んでいたところにドライブに行くなど、支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 認知症があるため非常に難しい面もあるが職員が積極的に関わり楽しい日常生活が送れる様支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 連絡や相談があった時にはきちんと対応している。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限りの希望を叶えられる様に努めているが難しい状況もありケースバイケースで対応している。 (外部評価) 生活歴や以前の職業などからは、把握が困難なケースもあるが、カラオケやドライブ、散歩、買い物などを通して、希望や意向を把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今まで生活をして来た環境や仕事のお話を積極的に傾聴しそれぞれの役割分担を考えている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の生活を充実したものにするため色々な気分転換の方法を考え実行している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 良く訪問してくれているご家族さんには積極的にお話を聞き面会の少ないご家族さんにも電話により連絡を取って介護の改善計画に活かしている。	
			(外部評価) 日々のケアの中で、話し合いながらチームで作る介護計画を目指している。担当者は、利用者や家族から聞いていることを計画作成担当者に伝えたり、ミーティング時に情報提供している。状態が変わればその都度、変化がなくても3か月に1度見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 病気や薬、日常生活上の問題点日常ケアなど気が付けば申し送り帳に細かく書き情報を皆で共有している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 新規サービスの取り組みや病院受診等御家族の支援が困難な時などは積極的に援助をし相談に乗っている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の公民館や小、中学校などにも訪問し協力して行ける様話し合いが出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) かかりつけ医との関係を重視しながら必要に応じて病 院受診なども行っている。 (外部評価) 基本的に入居前のかかりつけ医を受診する方針を取っ ている。通院介助も行っている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 入浴や食事、排泄、服薬、睡眠時など異常が有れば申 し送り状に書き改善をしている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 病院の看護師や相談員と密に連絡を取り入退院が出来 るだけスムーズに出来るように援助している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 本人さんやご家族さんの考えも有り、施設でかつてに は決められない事であるので慎重に話し合いを持って いる。 (外部評価) 重度化や終末期に向けた介護の取り組みを検討してい る。利用者や家族と話し合い、また有識者からの意見 なども参考にして、マニュアル作りにも取り組もうと している。	重度化や終末期のケア及び看取りについての具体的マ ニュアル作りを、関係者が関わって取り組むことに期 待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変を早めに防ぐため毎日のバイタルチェックを行ない何かの異常時に早めに病院受診し対応している。また勉強会や訓練を職員同士で教え合っている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 市の職員とも協力し避難場所や方法などについて考えている。 (外部評価) 消火器を実際に使ったり、夜間を想定した消防訓練をしている。いろいろな状況を想定した災害訓練の実施も検討している。緊急時の備蓄もあり、地域へ提供する用意もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 入浴は個別に一人一人が入浴をしておりプライバシーは守られている。居室も個室になっておりプライバシーを尊重出来る様になっている。 (外部評価) 一人ひとりの人格を尊重しており、入浴や排泄の際には、さりげない声掛けを心がけ、入浴時に他の人が間違っ入ってこないよう鍵をかけることもある。個人情報の取り扱いには細心の注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 毎日、要望や希望が有ればそれに答えられる様に頑張っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人さんの都合に合わせてはいるがラジオ体操や嚙下体操など必要不可欠な日課は毎日ほぼ決められた時間に行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 要望があればエステや理美容等の提供はさせてもらっている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の人に協力を頼んでも拒否される方や文句を言う人もいてなかなかスムーズには行かない事が多い。 (外部評価) 利用者はそれぞれ好みの食器を使用し、食事をしている。誰の食器か覚えている利用者もいて、配膳を手伝っている。おやつやレクリエーションの時間には、職員と一緒に作って食べることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人のアセスメントを行いその人にあった水分摂取やバランスの摂れた食事の提供をしている。かなり気を付けて介護している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎日三回の食後の歯磨きやうがいは欠かさず行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 随時のトイレ誘導を行っているがまだまだ排泄のパターンを掴む事が出来ていなかったり失敗が多く充分とは言えない。	
			(外部評価) 排泄チェック表で一人ひとりのパターンを把握し、紙おむつの利用者も状態を見ながら、できるだけ昼間はトレーニングパンツにするなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取には充分気をつけている。繊維質の多い食物や野菜なども多く摂取してもらうよう努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴の回数を多く取り随時その人の体調に合わせて入浴も行っている。	
			(外部評価) 入浴の時間や回数は一人ひとりの希望に対応している。毎日入りたい人は毎日、最低でも週3回の入浴を目標に支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 電動ベッドの導入によりその人にあった状況に合わせて設置し要望に答えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護師の資格を持つ者が多数いるので服薬には充分注意をしている。体調の変化にも早く気づいて対応している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手芸やエステ、マッサージ、リハビリなど多岐にわたり趣味や嗜好に心掛けているので気分転換は出来ていると思う。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎日の散歩に加え気分転換を兼ねて色々な所へドライブに出かけている。	
			(外部評価) 近くの神社や海岸まで毎日散歩したり、コンビニに買い物に行くなど、希望に沿った外出支援をしている。ドライブを好む利用者が多く、できる限り希望に添えるよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 週に一回は移動のパン屋さんが来たりドライブに出かけた時は自分の好きな物を買って貰っている。自動販売機のジュースを自分で買いに行っている人もいる。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は要望があればつないでいる。掛かってきた電話は必ず取り次ぐようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 普通の生活ができる様な作りに注意を払っている。さまざまな空間を利用し椅子やソファを置いている。	
			(外部評価) ソファなどをオレンジ色に統一して、全体を明るい雰囲気になっている。季節を感じる飾りつけをしたり、外に縁台を置いてくつろいで過ごせる工夫をしている。毎月の歌を決めて、歌詞を壁に貼って歌うことが利用者の楽しみになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 仲の悪い人とは近くにならない様に工夫し、それぞれ自分の居場所を確保している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 持ち込みは馴染みの物で了解をしているが皆さんあまり持ち込みは少ない様に思われる。	
			(外部評価) 各居室ののれんは、利用者が好みのものを掛けて、名前を書いたり飾りをつけるなど自由にしている。家具は馴染みのものを持ち込んで、自分に合った配置をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) シンプルな作りになっており居場所やトイレの場所が解らない事は無い。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890200078
法人名	NPO法人 ケア・サポート
事業所名	ちかみシーサイド
所在地	愛媛県今治市近見町1丁目7番50号
自己評価作成日	平成 21 年 7 月 10 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年8月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の問題行動や行動障害がなくなり、穏やかに普通にのんびりと暮らせる施設。利用者様の出来る事を引き出し本人さんのペースに合わせたケアを行ないたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の介護度が重くても、当ホームを利用することが必要であると判断される方は、受け入れている。「ふつうのことを ふつうに」を行動指針にして、ゆったりと一人ひとりに合わせたケアを目指している。管理者はこのホームに来てまだ日が浅いが、職員と協力し合って利用者にとってより良い生活の場所にしようと取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ちかみシーサイド

(ユニット名) ひだまり

記入者(管理者)

氏名 黒瀬 俊三

評価完了日 21年7月15日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 皆で毎日、実践の中で理念を共有している。</p> <p>(外部評価) 「ふつうのことを ふつうに」を理念の中心に置き行動の指針としている。例えば口腔ケアは毎食後にするとか入浴は週3回以上を目指すなど、あたりまえのことをあたりまえとしてやっているにとらえている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域に住んでいる職員を雇用し家族との交流もある。</p> <p>(外部評価) 管理者は、小・中学校、公民館など地域との関係が大切なことをよく理解している。夏祭りでは婦人会などにも声掛けをし、地域で行事があった時にホームの駐車場を貸すなど、つながりを大切にしている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 地域にある公民館とも協力し合い、交流を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者のご家族さんや市の職員の意見を参考に取り入れそれを実践している。	
			(外部評価) 市の担当者から連絡事項を説明してもらったり、ホームからは現在の取組について報告したりしている。今後、資格や経験のある人にも会議に参加してもらいたいと考えている。	開設してまだ日の浅いホームであるがいろいろと工夫し、積極的に取り組んでいる。職員以外の参加者を増やすなどして、多方面からの意見を活かした取り組みを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 感染症や災害時の事など緊密に連絡を取りながら協力体制を取っている。	
			(外部評価) 日ごろから、市の担当者と電話などで密に連絡を取っている。インフルエンザが流行した時などには情報提供や指導もいただき、良好な関係を築くことができている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 徘徊をする元気な利用者の方が多く玄関や入り口の施錠は拘束になると解っているが出来ていない。	
			(外部評価) 利用者の安全を最優先に考え、玄関は職員が操作しないと開かないようにしているが、常に最良の方法を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者には出来るだけ優しく接するように心掛けている。出来る限りの要望に答えている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 月に1回ミーティングを行いその都度話し合いを持っている。勉強会も月に1回は必ず有る。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に必ず十分な時間を取り、休みの日でも相手の都合に合わせてご家族様が納得するまで説明を行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 来園や面会に来られたご家族とお話しをし、何か要望はないかいつも聞いている。そしてその要望や意見を反映させている。 (外部評価) 家族からの意見や要望には、よく話を聞いて対応をしている。管理者は、家族からの意見などを運営に反映させたいと考えている。	何でも言ってもらえるような場や雰囲気づくり、行事への協力をお願いできるような関係づくりを、さらに積極的に進めるよう今後の取り組みに期待したい。

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎日、日常の勤務の中で要望や意見があれば取り入れている。 (外部評価) 代表者や管理者は、毎月1回のミーティングや、リーダーからの報告を通して、職員から意見や提案を聞き運営に反映させるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 残業時間が発生しない様、人的に厚く勤務を組んでいる。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月に1回は必ず講師を呼んで勉強会を行いスキルアップを目指している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 今の所同業者との交流は無い。これからはどんどん積極的に交流に取り組みたいと思っている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 本人さんやご家族さんとコミュニケーションを取り認知症により入居に至った経過をお聞きして対応策を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居に至った経緯や背景をお聞きし出来る限り要望にお答えする様努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 色々な対応を試みて利用者さんが今一番何を求めているのか探りながら介護をしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 常に横に寄り添いお話や日常生活訓練を試み少しでもより良い関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族とのコミュニケーションを大事にしながら御家族と一緒に協力体制を取って日常生活を営んでいる。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お友達や身内の人達の面会やふれあいを大切にしている。 (外部評価) 病院や他の施設から入居する人が多く、利用者の馴染みの関係を把握しにくいところはあるが、昔住んでいたところにドライブに行くなど、支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 認知症があるため非常に難しい面もあるが職員が積極的に関わり楽しい日常生活が送れる様支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 連絡や相談があった時にはきちんと対応している。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限りの希望を叶えられる様に努めているが難しい状況もありケースバイケースで対応している。 (外部評価) 生活歴や以前の職業などからは、把握が困難なケースもあるが、カラオケやドライブ、散歩、買い物などを通して、希望や意向を把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今まで生活をして来た環境や仕事のお話を積極的に傾聴しそれぞれの役割分担を考えている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の生活を充実したものにするため色々な気分転換の方法を考え実行している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 良く訪問してくれているご家族さんには積極的にお話を聞き面会の少ないご家族さんにも電話により連絡を取って介護の改善計画に活かしている。	
			(外部評価) 日々のケアの中で、話し合いながらチームで作る介護計画を目指している。担当者は、利用者や家族から聞いていることを計画作成担当者に伝えたり、ミーティング時に情報提供している。状態が変わればその都度、変化がなくても3か月に1度見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 病気や薬、日常生活上の問題点日常ケアなど気が付けば申し送り帳に細かく書き情報を皆で共有している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 新規サービスの取り組みや病院受診等御家族の支援が困難な時などは積極的に援助をし相談に乗っている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の公民館や小、中学校などにも訪問し協力して行ける様話し合いが出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) かかりつけ医との関係を重視しながら必要に応じて病 院受診なども行っている。 (外部評価) 基本的に入居前のかかりつけ医を受診する方針を取っ ている。通院介助も行っている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 入浴や食事、排泄、服薬、睡眠時など異常が有れば申 し送り状に書き改善をしている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 病院の看護師や相談員と密に連絡を取り入退院が出来 るだけスムーズに出来るように援助している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 本人さんやご家族さんの考えも有り、施設でかつてに は決められない事であるので慎重に話し合いを持って いる。 (外部評価) 重度化や終末期に向けた介護の取り組みを検討してい る。利用者や家族と話し合い、また有識者からの意見 なども参考にして、マニュアル作りにも取り組もうと している。	重度化や終末期のケア及び看取りについての具体的マ ニュアル作りを、関係者が関わって取り組むことに期 待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変を早めに防ぐため毎日のバイタルチェックを行ない何かの異常時に早めに病院受診し対応している。また勉強会や訓練を職員同士で教え合っている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 市の職員とも協力し避難場所や方法などについて考えている。 (外部評価) 消火器を実際に使ったり、夜間を想定した消防訓練をしている。いろいろな状況を想定した災害訓練の実施も検討している。緊急時の備蓄もあり、地域へ提供する用意もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 入浴は個別に一人一人が入浴をしておりプライバシーは守られている。居室も個室になっておりプライバシーを尊重出来る様になっている。 (外部評価) 一人ひとりの人格を尊重しており、入浴や排泄の際には、さりげない声掛けを心がけ、入浴時に他の人が間違っ入ってこないよう鍵をかけることもある。個人情報の取り扱いには細心の注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 毎日、要望や希望が有ればそれに答えられる様に頑張っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人さんの都合に合わせてはいるがラジオ体操や嚙下体操など必要不可欠な日課は毎日ほぼ決められた時間に行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 要望があればエステや理美容等の提供はさせてもらっている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の人に協力を頼んでも拒否される方や文句を言う人もいてなかなかスムーズには行かない事が多い。 (外部評価) 利用者はそれぞれ好みの食器を使用し、食事をしている。誰の食器か覚えている利用者もいて、配膳を手伝っている。おやつやレクリエーションの時間には、職員と一緒に作って食べることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人のアセスメントを行いその人にあった水分摂取やバランスの摂れた食事の提供をしている。かなり気を付けて介護している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎日三回の食後の歯磨きやうがいは欠かさず行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 随時のトイレ誘導を行っているがまだまだ排泄のパターンを掴む事が出来ていなかったり失敗が多く充分とは言えない。	
			(外部評価) 排泄チェック表で一人ひとりのパターンを把握し、紙おむつの利用者も状態を見ながら、できるだけ昼間はトレーニングパンツにするなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取には充分気をつけている。繊維質の多い食物や野菜なども多く摂取してもらうよう努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴の回数を多く取り随時その人の体調に合わせて入浴も行っている。	
			(外部評価) 入浴の時間や回数は一人ひとりの希望に対応している。毎日入りたい人は毎日、最低でも週3回の入浴を目標に支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 電動ベッドの導入によりその人にあった状況に合わせて設置し要望に答えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護師の資格を持つ者が多数いるので服薬には充分注意をしている。体調の変化にも早く気づいて対応している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手芸やエステ、マッサージ、リハビリなど多岐にわたり趣味や嗜好に心掛けているので気分転換は出来ていると思う。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎日の散歩に加え気分転換を兼ねて色々な所へドライブに出かけている。	
			(外部評価) 近くの神社や海岸まで毎日散歩したり、コンビニに買い物に行くなど、希望に沿った外出支援をしている。ドライブを好む利用者が多く、できる限り希望に添えるよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 週に一回は移動のパン屋さんが来たりドライブに出かけた時は自分の好きな物を買って貰っている。自動販売機のジュースを自分で買いに行っている人もいる。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は要望があればつないでいる。掛かってきた電話は必ず取り次ぐようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 普通の生活ができる様な作りに注意を払っている。さまざまな空間を利用し椅子やソファを置いている。	
			(外部評価) ソファなどをオレンジ色に統一して、全体を明るい雰囲気になっている。季節を感じる飾りつけをしたり、外に縁台を置いてくつろいで過ごせる工夫をしている。毎月の歌を決めて、歌詞を壁に貼って歌うことが利用者の楽しみになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 仲の悪い人とは近くにならない様に工夫し、それぞれ自分の居場所を確保している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 持ち込みは馴染みの物で了解をしているが皆さんあまり持ち込みは少ない様に思われる。	
			(外部評価) 各居室ののれんは、利用者が好みのものを掛けて、名前を書いたり飾りをつけるなど自由にしている。家具は馴染みのものを持ち込んで、自分に合った配置をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) シンプルな作りになっており居場所やトイレの場所が解らない事は無い。	